

業務用振動スピーカー LB045H / LB045S

壁や天井、什器など取り付けした素材を振動させることにより音を出すスピーカーです
取り付けした物から音が出ますのでスピーカーの存在を隠すことができます
弊社の振動スピーカーは高域用と低域用の2種類があります
取り付ける素材、使用目的や再生音源により使い分けると効果があります
取り付け方や音作りについては下記『振動スピーカーの取り付けについて』をお読み下さい

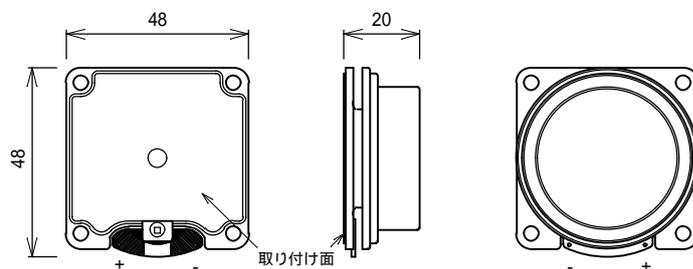
使用例

- ・デジタルサイネージ、キオスク用スピーカー（内部に取り付け）
- ・薄型モニターテレビ用スピーカー（台、または壁に取り付け）
 - ・ショーウインドー用スピーカー（ガラス背面に貼り付け）
- ・展示ブース、展示装置用のスピーカー（背面、または内部に取り付け）
 - ・音の出る看板用スピーカー（内部、または背面に取り付け）
 - ・音の出るポスター用スピーカー（背面の板、アクリルに取り付け）
 - ・テーブル、机から音を出すスピーカー（天板の下部に取り付け）
- ・壁から音を出してマスキング用、BGM用スピーカー（壁、天井内部に取り付け）
 - ・アミューズメント施設の効果音用スピーカー
 - ・椅子に取り付けて効果音用スピーカー

主な仕様

	LB045H (高域用)	LB045S (低域用)
インピーダンス	6 ± 0.9	
定格入力	10 W	5 W
最大入力	15 W	7 W
寸法	48 mm x 48 mm x 20 mm (突起部は除く)	
重量	90 ± 5 g	

寸法図 SCALE = 1/2



『振動スピーカーの取り付けについて』

振動スピーカーは取り付ける素材により色々と工夫が必要になります、基本的な取り付けについて説明をいたします。

振動スピーカーの取り付けは単純に貼り付けても、四隅をビスで取り付けても音は出ますが音色や再生帯域の調整が必要です。

例えば、スピーカーと取り付ける素材の間に柔らかいゴムやウレタン等を挟みます。

スピーカーに両面テープや接着剤で挟む素材を接着します。

挟む素材によって音は変化しますので素材を変えて必要な音に調整します。

- ・ゴムを使用する場合には厚さ0.5~1.0mmを用います。
スピーカーの全面にゴム板を両面テープ又は完全に硬化しない接着剤で貼り付けます。
- ・柔らかな素材にスピーカーを取り付ける場合にはウレタン素材を挟むと効果があります。
ウレタン素材は多種有りますので密なもの・荒いもの・硬いもの・柔らかいもの・薄いもの・厚いものを試してみるしかありません。
- ・ガラス・金属板等に接着する場合には3Mの両面テープ用いるだけで済む場合があります。
強力な両面テープ、3M VHB両面テープ、完全に硬化しない接着剤、セメダイン スーパーX 等、素材に合わせた製品を選びます。

振動スピーカーは1個でも当然使用できますがステレオ再生や音量がもっと必要と思われる場合には2個を使用します。

その場合、2個のスピーカーを取り付ける箇所は取り付け面の幅を1:2:1の比率で分割して両端1の所に取り付けると効果があります。

幅が1mであれば端から25cm・50cm・25cmですから25cmの所に取り付けることとなります。

また、取り付けする素材が枠に取り付けてあれば、なお効果が発揮されます。

例えばガラスに取り付ける時には窓枠や四方枠があればより効果的です。

振動スピーカーには高域用と低域用があります。

小型スピーカーと低域用をウーハーとしての組み合わせ、または高域用と低域用の組み合わせで再生帯域を広くすることもできます。

取り付けられる素材によって再生帯域が変化しますので調整が大事になります。

2種類のスピーカーを組み合わせる場合には高域用と低域用の音量バランスの調整も必要となります。

その場合2種類のスピーカーを中心部に配置した方が良いことがあります。

パワーアンプは左右のバランス調整とトーンコントロールが出来るものがあれば調整は楽に行う事が出来ます。

弊社のパワーアンプについてはお問い合わせ下さい。

株式会社ジャステック

〒179-0075 東京都練馬区高松2-23-2

[TEL] 03-3825-1916 [FAX] 03-3825-1922

[E-mail] info@just-tech.co.jp [URL] http://www.just-tech.co.jp/